

出雲市全体 業種別景況（令和2年1月～3月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				前年同期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				今期(令和2年1月～3月期)と比べた 来期(令和2年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上（完成工事・出荷）額	21.0	29.3	49.7	△ 28.7	21.1	22.9	56.0	△ 34.9	8.2	21.2	70.6	△ 62.4
2 採算（経常利益）	13.7	41.7	44.6	△ 31.0	15.0	37.7	47.3	△ 32.3	6.5	27.6	65.9	△ 59.4
3 資金繰り	6.0	60.5	33.5	△ 27.5	6.6	57.5	35.9	△ 29.3	1.2	49.1	49.7	△ 48.5
4 従業員（含 臨時・パート）	10.8	73.5	15.7	△ 4.8	17.5	61.4	21.1	△ 3.6	9.7	73.9	16.4	△ 6.7
5 商品（製品）在庫	4.0	73.8	22.1	△ 18.1	4.8	72.8	22.4	△ 17.7	5.4	72.1	22.4	△ 17.0
6 業況（自社）	7.7	46.4	45.8	△ 38.1	10.2	39.2	50.6	△ 40.4	4.1	29.0	66.9	△ 62.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した									実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他			
1 今 期	38.5	0.0	14.3	23.4	27.3	10.4	23.4	1.3	61.5	
2 来 期	32.1	6.6	14.8	18.0	29.5	9.8	21.3	0.0	67.9	

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	60.6	12.2	6.4	9 金利負担の増加	0.6	2.2	2.7
2 新規参入業者の増加	0.6	5.0	3.6	10 代金回収の悪化	0.0	0.7	3.6
3 単価の低下・上昇難	4.2	10.8	7.3	11 事業資金の借入難	0.6	0.7	4.5
4 材料（原材料）等の入手難	2.4	7.2	2.7	12 従業員の確保難	11.5	12.2	11.8
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	0.6	7.9	8.2	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	3.0	14.4	20.0
6 人件費の増加	4.8	10.8	10.0	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	2.4	3.6	3.6
7 仕入・人件費以外の経費の増加	2.4	6.5	7.3	15 その他	5.5	1.4	7.3
8 商品（製品）在庫の過剰	0.6	4.3	0.9				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

《建設業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				前年同期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				今期(令和2年1月～3月期)と比べた 来期(令和2年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	30.4	47.8	21.7	8.7	13.6	36.4	50.0	△ 36.4	4.3	43.5	52.2	△ 47.8
2 採算(経常利益)	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	8.7	52.2	39.1	△ 30.4	4.3	43.5	52.2	△ 47.8
3 資金繰り	0.0	83.3	16.7	△ 16.7	4.3	87.0	8.7	△ 4.3	0.0	65.2	34.8	△ 34.8
4 従業員(含臨時・パート)	20.8	62.5	16.7	4.2	21.7	47.8	30.4	△ 8.7	21.7	65.2	13.0	8.7
5 商品(製品)在庫	0.0	94.1	5.9	△ 5.9	0.0	81.3	18.8	△ 18.8	0.0	87.5	12.5	△ 12.5
6 業況(自社)	4.2	75.0	20.8	△ 16.7	4.3	60.9	34.8	△ 30.4	0.0	47.8	52.2	△ 52.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した								実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他		
1 今 期	37.0	0.0	0.0	10.0	50.0	0.0	40.0	0.0	63.0
2 来 期	46.9	6.7	13.3	6.7	26.7	13.3	33.3	0.0	53.1

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	64.0	0.0	0.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	5.0	11.1	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.0	20.0	11.1	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	4.0	25.0	0.0	12 従業員の確保難	20.0	15.0	27.8
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	0.0	11.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	15.0	0.0
6 人件費の増加	0.0	15.0	16.7	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	8.0	5.0	16.7	15 その他	0.0	0.0	5.6
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・コロナの影響で、機器類の納期に多少影響がでている。
- ・コロナの影響で、全体的な受注が40%減少。
- ・コロナの影響で、中国と取引のあるお客様の仕事が延期になった。
- ・コロナの影響は少しずつ出てきている。先行きが不透明。同業他社の活動が活発で単価が落ちてきている。
- ・全体的に仕事が減少。人材不足。
- ・マスク・消毒液等の備蓄が十分ではない状況。

《 製 造 業 》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				前年同期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				今期(令和2年1月～3月期)と比べた 来期(令和2年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	16.7	19.4	63.9	△ 47.2	25.0	22.2	52.8	△ 27.8	5.6	13.9	80.6	△ 75.0
2 採算(経常利益)	11.1	38.9	50.0	△ 38.9	19.4	38.9	41.7	△ 22.2	2.8	19.4	77.8	△ 75.0
3 資金繰り	14.3	54.3	31.4	△ 17.1	8.6	54.3	37.1	△ 28.6	0.0	40.0	60.0	△ 60.0
4 従業員(含臨時・パート)	2.8	80.6	16.7	△ 13.9	19.4	63.9	16.7	2.8	5.6	88.9	5.6	0.0
5 商品(製品)在庫	5.7	85.7	8.6	△ 2.9	8.6	77.1	14.3	△ 5.7	17.1	77.1	5.7	11.4
6 業況(自社)	5.6	50.0	44.4	△ 38.9	11.1	38.9	50.0	△ 38.9	2.8	19.4	77.8	△ 75.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した								実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他		
1 今 期	51.2	0.0	22.7	27.3	18.2	9.1	22.7	0.0	48.8
2 来 期	39.0	0.0	6.3	37.5	37.5	6.3	12.5	0.0	61.0

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	74.3	3.4	12.0	9 金利負担の増加	2.9	0.0	8.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	0.0	13.8	8.0	11 事業資金の借入難	0.0	3.4	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	2.9	3.4	8.0	12 従業員の確保難	8.6	6.9	16.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	2.9	6.9	8.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.9	27.6	16.0
6 人件費の増加	2.9	17.2	12.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	6.9	8.0	15 その他	2.9	3.4	4.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	6.9	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナの影響で、自動車業界の生産停止が世界規模で広がり、受注減の経営に及ぼす影響が大きい。コロナに社員が感染した時の自社の操業停止のリスクが大きい。（電子部品）
- ・コロナの影響で、受注量が想定より激減。今後の見通しが立たない。（繊維製品）
- ・パナソニックの太陽光発電用のパワーコントロール基盤を製造しているが、コロナの影響による中国・マレーシアの部品調達難で3月は半日、4月は1～半日稼働の予定。（電子部品）
- ・今後のコロナの影響を注視。（繊維製品）
- ・店舗改装を実施したが、コロナの影響で販売減が大変な状況。（食品）
- ・コロナの影響で、卒業、入学シーズン、花見等の別注がほぼなくなった。（食品）
- ・コロナの影響で、2・3月は中国工場が生産が出来なくなり、国内生産の需要が高まり一時的に受注があったが単価は安い。（精密機械部品）
- ・コロナの影響で、納入先飲食店の売上が減少しており、通常、送別会・歓迎会・花見などで賑わう飲食店の今後の心配。（醤油）
- ・コロナの影響で、生産に欠かせない防塵対応用マスクの不足。（鋳物）
- ・コロナの影響で、全体的に休業する会社が多くなるような気がする。（金属加工）
- ・コロナの影響で、3月以降受注が激減。特に車載関連の会社の落ち込みが響いている。新規食品会社との話はあるものの進んでいない。今後の予測は、周りの同業他社の状況からもっと厳しくなりそう。（鉄骨構造物）
- ・テナント（境港・出雲・斐川）、特に境港の売上が上昇。（水産練製品）
- ・コロナの影響は直接はないが、いずれ出てくることは間違いないと思う。（コンクリート2次製品）
- ・現在、とりあえず影響なく喜んでいまる。浄化装置等、環境面への問い合わせが多い気がする。（配電盤）
- ・コロナの影響で、県内県外のショッピングモール、駅ナカの店舗は売上が減少。郊外スーパーは売上好調のようで発注が多い。（野菜漬物製造）
- ・コロナの影響で、中国工場が止まり材料が問屋を通しても入荷できず製造ができない。少しずつ稼働再開しているが、稼働率は30～40%位との話で、やはり入荷には時間がかかる。（石材）

《卸 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				前年同期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				今期(令和2年1月～3月期)と比べた 来期(令和2年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	12.5	56.3	31.3	△ 18.8	31.3	31.3	37.5	△ 6.3	6.3	37.5	56.3	△ 50.0
2 採算(経常利益)	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	12.5	56.3	31.3	△ 18.8	0.0	50.0	50.0	△ 50.0
3 資金繰り	0.0	62.5	37.5	△ 37.5	0.0	62.5	37.5	△ 37.5	6.3	50.0	43.8	△ 37.5
4 従業員(含臨時・パート)	12.5	87.5	0.0	12.5	25.0	75.0	0.0	25.0	18.8	81.3	0.0	18.8
5 商品(製品)在庫	0.0	75.0	25.0	△ 25.0	6.3	68.8	25.0	△ 18.8	0.0	62.5	37.5	△ 37.5
6 業況(自社)	0.0	62.5	37.5	△ 37.5	6.3	56.3	37.5	△ 31.3	0.0	50.0	50.0	△ 50.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した									実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他			
1 今 期	52.4	0.0	9.1	18.2	45.5	9.1	18.2	0.0	47.6	
2 来 期	40.0	12.5	25.0	12.5	25.0	0.0	25.0	0.0	60.0	

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	56.3	6.7	0.0	9 金利負担の増加	0.0	6.7	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	6.7	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	20.0
3 単価の低下・上昇難	6.3	0.0	0.0	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	30.0
4 材料(原材料)等の入手難	12.5	13.3	0.0	12 従業員の確保難	6.3	6.7	10.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	0.0	0.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	12.5	6.7	20.0
6 人件費の増加	6.3	20.0	10.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	10.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	20.0	0.0	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	13.3	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナの影響で、3月売上高、前年比85%減。外食部門（大社、旅館、居酒屋）は大幅ダウンするも、メディカル部門は、前年比95%で維持。（食品）
- ・コロナの影響で、顧客休業のため売上激減。（酒類）
- ・コロナの影響による顕著な現象は見られないが、外出の自粛などで、外出用衣類の着用が減りクリーニング需要も減少することが懸念される。（クリーニング関係機器薬品）
- ・コロナの影響で、トレイ・ウォシュレット・IHクッキングヒーター・食洗器等商品が入荷しない。（家電）
- ・コロナの影響で、海外（アメリカ・カナダ・オーストリア）からの仕入が難しくなるか、または、現地の人員不足でコンテナへの積み込みが遅れ日本への到着が遅れるといった、メーカーからのFAXにとっても不安を感じる。（肥料飼料）
- ・コロナの影響で、見通したたず。（土産品）
- ・コロナの影響で、マスク向けの部材の受注が増加。（繊維）

《小 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				前年同期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				今期(令和2年1月～3月期)と比べた 来期(令和2年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	25.6	25.6	48.8	△ 23.3	18.6	16.3	65.1	△ 46.5	8.9	13.3	77.8	△ 68.9
2 採算(経常利益)	18.2	38.6	43.2	△ 25.0	18.2	31.8	50.0	△ 31.8	6.5	28.3	65.2	△ 58.7
3 資金繰り	6.8	59.1	34.1	△ 27.3	11.1	48.9	40.0	△ 28.9	2.2	47.8	50.0	△ 47.8
4 従業員(含臨時・パート)	14.0	69.8	16.3	△ 2.3	16.3	65.1	18.6	△ 2.3	9.3	74.4	16.3	△ 7.0
5 商品(製品)在庫	4.5	56.8	38.6	△ 34.1	4.7	62.8	32.6	△ 27.9	2.3	65.1	32.6	△ 30.2
6 業況(自社)	15.6	33.3	51.1	△ 35.6	18.2	27.3	54.5	△ 36.4	6.5	26.1	67.4	△ 60.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した								実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他		
1 今 期	32.7	0.0	16.7	22.2	16.7	16.7	22.2	5.6	67.3
2 来 期	23.9	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1	27.3	0.0	76.1

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	51.2	21.1	10.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	7.9	6.7	10 代金回収の悪化	0.0	2.6	6.7
3 単価の低下・上昇難	9.3	5.3	6.7	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	5.3	3.3	12 従業員の確保難	9.3	21.1	0.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	10.5	6.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	7.9	30.0
6 人件費の増加	9.3	0.0	6.7	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	7.0	13.2	6.7
7 仕入・人件費以外の経費の増加	2.3	5.3	3.3	15 その他	9.3	0.0	10.0
8 商品(製品)在庫の過剰	2.3	0.0	3.3				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナの影響で、トイレットペーパー、ティッシュ等の紙類、マスク、アルコール消毒、手袋等が売れた。マスク、アルコール消毒等の商品入荷は不安定。（大型店）
- ・小売スーパーは好調。（大型店）
- ・コロナの影響で、自由な販売活動できない。（家電）
- ・コロナの影響で、夜の業務用酒類不調。巣ごもり需要で一部商品は売上を伸ばす。喫茶は前年より売上好調。（酒類）
- ・コロナの影響で、商店街に人通りがない。衣料品にヒット商品がない。入学シーズンで必要以外のものを買わない。体操服など洗替の購入もなし。（婦人服）
- ・コロナの影響による卒業式中止でレンタル品のキャンセル・返金で、売上減。消費増税の影響で必要なもの以外に対する購買力は低下。（呉服）
- ・コロナの影響で、中止になったが東京オリンピック島根県でのトーチウェアを受注。（スポーツ用品）
- ・店舗小売りの割合が多いため2・3月はコロナの影響はあまり受けていないが、今後はわからない。（菓子）
- ・コロナの影響で、観光客が2月に入って大幅減少し、現金売りが大幅減。飲食店等の受注も3月上旬位から大幅に減少している。（酒）
- ・暖冬とコロナの影響で売上減。（ガソリン）
- ・コロナの影響で4・5月の予約のキャンセル。（ギフト）
- ・コロナの影響による観光客の減少が経営悪化につながっている。（食料品）
- ・原油価格の急落でマージン改善。（石油）
- ・コロナの影響による会合の中止で、商品購入も中止。これが1年続くと内部留保がなくなる。（服）
- ・コロナの影響で、客足ない。元通りになるか不安。（婦人服）
- ・コロナの影響で、受注キャンセルがかなり多く、夏の繁忙期まで尾を引きそう。（酒類・たばこ）
- ・コロナの影響による予約数の減少やキャンセルで、今後に不安。（菓子）
- ・暖冬で2月が開業以来一番売上が高かった。3月も山陰にコロナウイルスの感染者がでなかったことで、観光客が多く、例年と変わらず安心していましたが、4月から少しずつ影響が出始めている。（パン）
- ・コロナの影響で客数減少により、売上が前年同期、前期共に下回った。（玩具）
- ・コロナの影響で今後に不安。（自転車）
- ・コロナの影響で自動車燃料は1割減。レンタカー売上は6割減。（ガソリンスタンド）
- ・暖冬とコロナで売上減少。（ガソリンスタンド）

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和元年10月～12月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				前年同期(平成31年1月～3月期)と比べた 今期(令和2年1月～3月期)の状況				今期(令和2年1月～3月期)と比べた 来期(令和2年4月～6月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	18.4	22.4	59.2	△ 40.8	20.4	20.4	59.2	△ 38.8	12.0	18.0	70.0	△ 58.0
2 採算(経常利益)	12.5	29.2	58.3	△ 45.8	12.5	29.2	58.3	△ 45.8	12.2	18.4	69.4	△ 57.1
3 資金繰り	4.2	54.2	41.7	△ 37.5	4.2	52.1	43.8	△ 39.6	0.0	49.0	51.0	△ 51.0
4 従業員(含臨時・パート)	8.5	72.3	19.1	△ 10.6	12.5	58.3	29.2	△ 16.7	4.3	63.8	31.9	△ 27.7
5 商品(製品)在庫	5.4	73.0	21.6	△ 16.2	2.7	78.4	18.9	△ 16.2	2.7	73.0	24.3	△ 21.6
6 業況(自社)	6.4	36.2	57.4	△ 51.1	6.4	34.0	59.6	△ 53.2	6.3	22.9	70.8	△ 64.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画								実施・計画 していない
	した	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	29.6	0.0	12.5	31.3	25.0	12.5	18.8	0.0	70.4
2 来 期	21.6	9.1	18.2	9.1	36.4	18.2	9.1	0.0	78.4

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	58.7	18.9	3.7	9 金利負担の増加	0.0	5.4	3.7
2 新規参入業者の増加	2.2	5.4	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	2.2	13.5	7.4	11 事業資金の借入難	2.2	0.0	7.4
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	0.0	0.0	12 従業員の確保難	13.0	8.1	11.1
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	13.5	11.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	4.3	13.5	25.9
6 人件費の増加	4.3	10.8	7.4	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	2.2	0.0	3.7
7 仕入・人件費以外の経費の増加	2.2	2.7	7.4	15 その他	8.7	2.7	11.1
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	5.4	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・コロナの影響で、観光、宿泊、飲食は壊滅的。（ホテル）
- ・コロナの影響で、予想を上回るキャンセル。3月の売上は前年の半分。先行き不透明で見通しが立たない。（飲食）
- ・島根でコロナ発生以降、急激なお客様の不安感を感じる。5月以降が不安だが、社員一同マスク着用、消毒に気を付けて早期終息を祈る。妊娠中のスタッフには有給を付与。（美容室）
- ・コロナの影響で、予約キャンセル、売上減少。（レジャー）
- ・コロナの影響で、国交省の工事現場で3月中に一部停止があった。（リース）
- ・コロナの影響で、IT導入関係の受注増。落ちつけばすべてが下方に向かう可能性が高い。（IT）
- ・コロナの影響で、集合写真のキャンセル。（写真撮影）
- ・今後の予測不能。（清掃）
- ・コロナの影響で、得意先の営業活動が減少しているため、影響がじわじわ出始めている。（ビル管理）
- ・コロナの影響で、航空機の運航が減便・中止、各地で移動自粛要請もあり、観光客・営業マンの動きもなく旅客輸送業は不況にあえぐ。
飲食を伴う会合・結婚式も中止または延期となり、ホテル・飲食店からの依頼も激減。（タクシー・観光バス）
- ・コロナの影響で、仕事のキャンセル発生。（写真撮影）
- ・コロナの影響で、開店休業状態。長引くほど赤字に。（ビジネスホテル）
- ・コロナの影響で、宿泊予約や昼の休憩、BBQのキャンセルが続いている。ステージイベントも全てキャンセルしているため集客が期待できない。（飲食・宿泊）
- ・コロナの影響で、先の見えない状況に大変苦慮している。（旅館）
- ・コロナの影響で、2月中旬から売上減。特に3月に入り減少幅拡大。（飲食）
- ・コロナの影響が甚大。（民宿）
- ・コロナの影響で売上減少。先が見えず不安。（飲食）